

福島第二原子力発電所からのお知らせ（平成28年9月号）

福島第二原子力発電所1～4号機は、燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況や、様々な取り組みをお知らせします。

当所における核物質防護規定*1の 遵守義務違反についてのお詫び

昨年10月の原子力規制庁による検査において、警備上の監視業務の一部が適切に行われていないことが確認され、本年9月、核物質防護規定の遵守義務違反に当たるとし、嚴重注意文書を受領しました*2。

この度の事案は、周辺環境の影響から侵入検知器の不要警報が多発する場合において、警報表示機能の一部を停止した際に、代替措置が不十分であると判断された*3ものです。

現在は是正措置が完了し、監視業務は適切に行われております。

本件につきまして、発電所立地地域をはじめとする社会の皆さまに大変なご心配をお掛けしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

地域の皆さまのお叱りの言葉を真摯に受け止め、二度とこの様な事がないよう再発防止を徹底し、発電所の安全確保に取り組んでまいります。

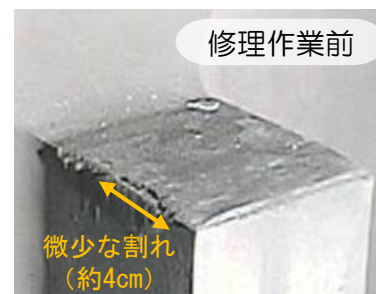
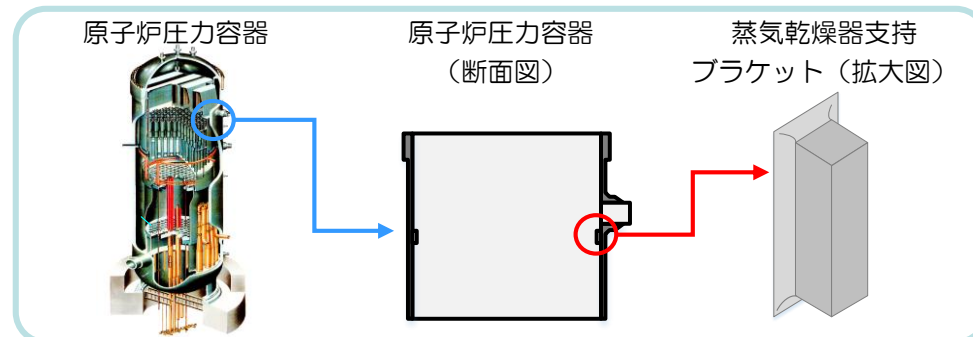
*1 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づき、原子力事業者が発電所毎に定めており、核物質及び原子炉施設の防護に係る管理方法などを記載し、国に申請し許可を受けております。

*2 監視業務の不備を確認した時点での対外的な公表は、当所施設に対して妨害破壊行為を企てようとする者に知られることで、公共の安全を害するおそれがあるため、法律上も実施できないこととなっております。このため、規制当局における是正状況の完了確認を受け、本年9月に公表に至っております。

*3 当該機器の停止中も、代替手段により、全く監視ができていないという状態ではありませんでした。

4号機蒸気乾燥器支持ブラケットの 修理作業が完了しました

○4号機において、2012年の炉内点検時に確認された、蒸気乾燥器支持ブラケット*の微小な損傷（割れ）について、本年8月23日から8月26日にかけて修理作業を実施しました。



* 蒸気乾燥器支持ブラケット

原子炉圧力容器の内壁に溶接されている棒状の部材で、蒸気乾燥器の荷重を支持するもの

○この修理は、現在全号機において進めている使用済燃料プールゲート閉鎖（1、2、3号機はすでに実施済み）のための事前作業（蒸気乾燥器を原子炉圧力容器へ格納する作業）において、当該箇所が剥離し、異物となって原子炉内部へ落下するリスクを低減するために実施したものです。

電源車を使った電気の供給試験を実施しました

- 通常使用している外部電源や予備の非常用ディーゼル発電機が機能せず、使用済燃料プールの冷却が停止してしまうような緊急時に備えて、電源車から電源盤までの電気の供給試験を実施しました。
- 試験では、所員が高台から原子炉建屋脇まで電源車を運転した後、電源車からのケーブル引き出し、電源車や電源盤へのケーブル接続などを行いました。また、電源車を起動し実際に電源盤へ電気を供給できることを確認しました。緊急時における冷却に向けた初動対応をより迅速に行えるよう、日々の業務に努めていきます。



電源車の使用前点検



ケーブル接続（電源車側）



ケーブル接続（電源盤側）

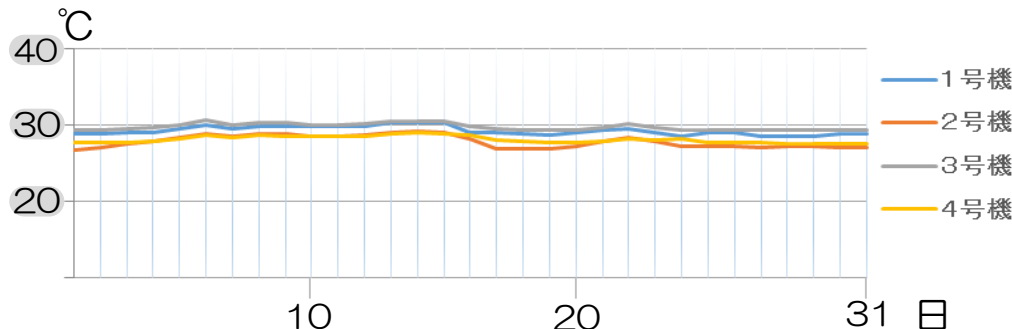


電源車起動後の電圧・周波数の調整

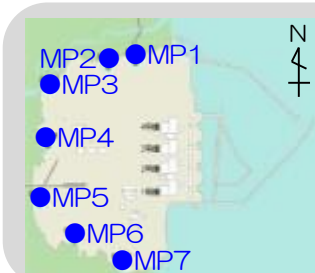
福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き燃料の安定冷却を継続してまいります。

燃料の冷却状況(8月分)

使用済燃料プール水の温度は、30℃程度で安定して推移しており、燃料の冷却を維持しています。



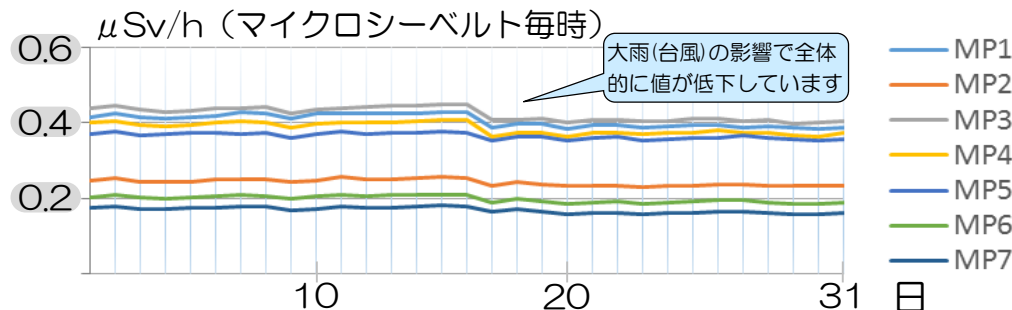
発電所周辺の放射線量計測状況(8月分)



構内に設置している全7基のモニタリングポスト(MP)により敷地周辺における空気中の放射線量の測定を常時行っています。

◇天気と放射線の関係について

空気中の放射線量については、天気によって変動します。一般に、雨が降ると空気中の自然の放射性物質が地表に落とされ上昇します。一方、雨による水たまりや積雪ができると、大地からの放射線が水や雪によって遮られ低下します。



使用済燃料プール水温度やモニタリングポストのこれまでの計測状況については、当所ホームページをご覧ください。

ホームページURL
<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

QRコード

